

# ちはやあかさか 議会だより

第 104 号  
平成 25 年 5 月 1 日  
発行 千早赤阪村議会  
編集 議会広報編集委員会  
〒585-8501  
大阪府南河内郡  
千早赤阪村大字水分 180 番地  
TEL 0721 - 72 - 0081  
FAX 0721 - 72 - 1880



村立中学校ブラスバンド部による第 2 回 きらめきコンサート

## — 主な内容 —

定例会議決結果	2~3
いっぱん質問	4~7
全員協議会報告	7
議会活動日誌、雑感	8
	ページ



楠木正成の  
イメージキャラ  
「まさしげくん」  
(千早赤阪楠公史跡保存会提供)

## 3 月定例会のあらまし

平成 25 年第 1 回(3 月)千早赤阪村議会定例会は 3 月 5 日に開会し、専決処分報告や条例制定・改正、平成 24 年度補正予算、平成 25 年度当初予算など計 34 議案が提案され、それぞれ承認・可決しました。3 月 21 日の最終日には、追加議案 2 件を可決し、一般質問をもって 17 日間の定例会を閉会しました。

## 3月定例会議決結果

案 件 名	議決結果
・報告第1号 専決処分(工事請負契約の変更契約)について	原案承認(全員)
・議案第1号 千早赤阪村附属機関に関する条例制定について	原案可決(全員)
・議案第2号 千早赤阪村報酬及び費用弁償条例の改正について	〃
・議案第3号 千早赤阪村新型インフルエンザ等対策本部条例制定について	〃
・議案第4号 千早赤阪村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	〃
・議案第5号 千早赤阪村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について	〃
・第6号議案	〃
・議案第6号 千早赤阪村指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例制定について	〃
・議案第7号 千早赤阪村が管理する村道の構造の技術的基準を定める条例制定について	〃
・第6号議案	〃
・議案第8号 千早赤阪村移動円滑化のために必要な千早赤阪村が管理する村道の構造に関する基準を定める条例制定について	〃
・議案第9号 千早赤阪村が管理する村道に設ける道路標識の寸法等に関する条例制定について	〃
・第6号議案	〃
・議案第10号 千早赤阪村水道事業の設置等に関する条例の改正について	〃
・議案第11号 千早赤阪村布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例制定について	〃
・第6号議案	〃
・議案第12号 千早赤阪村下水道条例の改正について	〃
・議案第13号 千早赤阪村事務分掌条例の改正について	〃
・議案第14号 千早赤阪村手数料条例の改正について	〃
・議案第15号 千早赤阪村老人医療費の助成に関する条例の改正について	〃
・議案第16号 千早赤阪村国民健康保険条例の改正について	〃
・議案第17号 千早赤阪村営香楠荘設置及び管理に関する条例の改正について	〃
・議案第18号 千早赤阪村立郷土資料館の指定管理者の指定について	〃
・議案第19号 千早赤阪村立いきいきサロンの指定管理者の指定について	〃
・議案第20号 千早赤阪村金剛山ロープウェイの指定管理者の指定について	〃
・議案第21号 千早赤阪村営宿泊施設香楠荘の指定管理者の指定について	〃
・議案第22号 平成24年度千早赤阪村一般会計補正予算(第6号)について	〃
・議案第23号 平成24年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	〃
・第6号議案	〃
・議案第24号 平成24年度介護保険特別会計補正予算(第3号)について	〃
・議案第25号 平成24年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	〃
・第6号議案	〃
・議案第26号 平成25年度千早赤阪村一般会計予算について	原案可決(賛成多数)
・議案第27号 平成25年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算について	原案可決(賛成多数)

## 3月定例会議決結果

案 件 名	議決結果
・議案第28号 平成25年度千早赤阪村介護保険特別会計予算について	原案可決(全員)
・議案第29号 平成25年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決(賛成多数)
・議案第30号 平成25年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算について	原案可決(全員)
・議案第31号 平成25年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算について	〃
・議案第32号 平成25年度千早赤阪村水道事業特別会計予算について	〃
・議案第33号 一般職員の給与に関する条例等の改正について	〃
・議案第34号 平成24年度一般会計補正予算(第7号)について	〃

### 主な案件の内容



#### ○議案第1号

##### 千早赤阪村附属機関に関する条例制定について

外部評価委員会など要綱等で位置づけされていた委員会や協議会（附属機関）について、地方自治法では条例で定めることとされているため、一括して附属機関に関する条例として規定するもの。

#### ○議案第10号

##### 千早赤阪村水道事業の設置等に関する条例の改正について

千早簡易水道の浄水場等の整備の認可変更申請及び上水道と簡易水道の統合の届出にあたって、本条例の改正が必要なため。

#### ○議案第15号～議案第16号

##### 議案第15号千早赤阪村老人医療費の助成に関する条例の改正について及び議案第16号千早赤阪村国民健康保険条例の改正について

障害者自立支援法の改正に伴うもので助成及び給付に係る影響はない。

#### ○議案第18号～議案第21号

##### 4議案は、平成25年3月31日で期間満了となる指定管理者の指定について

「議案第18号. 千早赤阪村立郷土資料館の指定管理者の指定について」は社団法人 千早赤阪楠公史跡保存会 理事長 新田寛氏を、「議案第19号. 千早赤阪村立いきいきサロンの指定管理者の指定について」は社会福祉法人 千早赤阪村社会福祉協議会 会長 西野敏彦氏を、「議案第20号. 千早赤阪村金剛山ロープウェイの指定管理者の指定について」及び「議案第21号. 千早赤阪村営宿泊施設香楠荘の指定管理者の指定について」の2議案は株式会社 グルメ杵屋 代表取締役社長 椋本充士氏を、それぞれ指定するもの。

#### ○議案第22号

##### 平成24年度千早赤阪村一般会計補正予算(第6号)について

退職手当や職員手当のほか、国の補正予算による東日本大震災復興特別会計予備費を活用して行う、千早小吹台小学校屋内運動場の耐震補強等工事に係る経費などを追加するもの。

# いっぱん質問



徳丸 幸夫 議員

## 定住人口増加の具体策

**問** 村政運営方針では、定住人口増加の具体策はふれていない。定住人口をどう増やすのか。

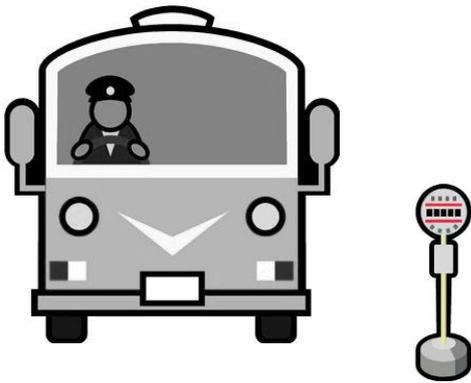
**答** 人口増加の必要性は十分に認識している。定住を促進するため、教育環境の整備、医療、

商業、雇用、交通対策など、各分野の施策展開を図り、全庁的に取り組んでいきたい。即座に人口を増やすことよりも、地道な施策を積み上げて減少に歯止めをかけたい。

## 村民の移動手段の確保、充実を

**問** 高齢化が進み、移動手段の確保充実は、切実で緊急の課題である。これまで「公共交通の検討」との方針はあるが、検討だけでは前にすすまない。26年度からでも実施を。

**答** 村民の移動手段の確保充実については、庁内、関係各課、社会福祉協議会なども協議をするとともに、持続可能な公共交通の確立をめざし、導入方法の課題や有効策を検討したい。第3期実行計画に示したとおり、計画的に進めたい。27年度を目標に実証実験できるように調査研究したい。



3月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。内容（560字以内）は、質問した議員の責任で作成したものです。

関口 ほづみ 議員

## 住宅リフォーム助成で活性化を

**問** 地域経済への波及効果が大きい住宅リフォーム助成制度が全国に広がり、大阪府では、藤井寺市で実施している。耐震診断と耐震工事への助成は行われているが、一般の住宅リフォームへの助成を求める。

**答** 平成25年度、耐震改修の設計費用について補助対象とした。住宅リフォーム助成による、地元業者の活性化も意味あ

ることだが、住民の安心・安全を第一に、耐震化助成に取り組むこととした。

**問** 業者の状況を把握し、実施にむけ、検討を。

**答** 村内業者で廃業や仕事が減っている状況を承知している。動きを見ながら判断したい。



## 犬の多頭飼育に厳しい対応を

**問** 20匹以上の犬の多頭飼育によるトラブルが発生している。問題解決に向けて、届出を義務づける条例制定が必要だ。

**答** 全国で規制条例を定めている自治体は無い。動物愛護法、府の動物愛護・管理条例により府と同行し、飼い主にペットの正しい飼い方を引き続き指導していく。

**問** 現在の指導で解決できていない。届け出を義務づけている

自治体は全国で34ある。狂犬病予防・飼い犬登録はしているか。

**答** 近々登録すると聞いています。再度指導する。

**要望** 登録をしているかどうかも分からない、住民登録もしていないでは解決にならない。千早赤阪村が、ブリーダーなどによる多頭飼育の対象地にされる可能性が高い。生活環境を守るために条例制定をすべきだ。

### 赤阪小学校に学童保育の設置を

**問** 全国的にも少子化・核家族化の進行により、子育て環境も大きく変化している。今、学童保育は千早小吹台小学校のみで実施されている。特に若い世代で共働きの方が多いオレンジヒルの保護者の方から、「赤阪小学校にも学童保育を、是非設置して欲しい」との切実な要望が多数あり、子育て支援の一環として何とか設置できないか伺う。

**答** 千早小吹台小学校に設置されている学童保育は、千早赤阪村学童保育連絡会が主体となり運営されている。赤阪校区からは森屋地区の児童を中心に22名の登録があり、2月の実利用は18名である。

### 宣誓書の様式変更を

**問** 各種選挙の期日前投票の際に記入する宣誓書は、投票所で記入することになっている。

様式を変更し投票所入場券の裏面に印刷して有権者に配布することにより、経費の削減ができる。また自宅で記入ができるので、高齢者の方などの心理的負担が軽減できる。既に導入してい

赤阪小学校には空き教室がないため、今後、利用者の動向等を勘案し検討したい。

**要望** 公共施設を利用する方法もあり、検討していただきたい。



る自治体もあり、本村も検討してはどうか伺う。

**答** 入場券への宣誓書の印刷は府内では10市町で実施されている。本村の入場券はサイズが小さいため、他市町の導入事例を調査し、入場券への印刷をする方向で、選挙管理委員会において検討したい。

### 上下水道の防災対策と有収率の改善について

**問** 水道施設の耐震化の事業はいつまでに完了するのか。

**答** 平成25年度から耐震化も含めて施設整備に着手する。目標年度は31年度だが、緊急性の高いものから事業に着手したい。

**問** 震災発生後の給水活動計画はどうなっているのか。1人最低、一日3リットル三日間必要と言われている。管路、道路が寸断されたら給水拠点をどのように確保するのか。

**答** 配水池と給水タンクを活用したい。また、各家庭に水の常備をお願いしたい。耐震性の貯水槽は検討したい。

**問** 配水池に緊急遮断装置はあるのか。管路が破損したら水が垂れ流しになる。

**答** 緊急遮断装置は取り付けていない。給水拠点となる配水池に早急に取り付けたい。

**問** 下水道の管路が破損したらトイレの問題が深刻になる。

**答** その通りだ。仮設トイレ、下水のマンホールの活用が考えられるが現在、器材の備蓄はない。備蓄を計画的に進めたい。

**問** 有収率の向上には、配管図、給水戸番図の作成、電気計

装設備、音調など対策が必要だ。

**答** ご指摘の漏水調査を進めた。配管図、給水戸番図は未整備だが、災害対策や有収率向上には欠かせないので整備する。

**問** 村長に提案するが、災害関係の予算は款項目を設け、村民に対策がわかりやすくすべきだ。

**答** 良い提案をいただいた。そのように対処したい。



岩井谷配水池

## みんなが集う村づくりに

**問** 千早赤阪村の地域性を活かして、安全、安心で子育てしやすい、住んでよかったと思えるにぎわい溢れる村づくりとはどんな村か。また、役所の建て替えはあるのか。

**答** 第4次総合計画では、村の将来像として「みんなが集う みんなで育む みんなに優しい。みんなを結ぶ ちはやあかさか」夢を持って子育てができる金剛山の村」を掲げており、ずっと住み続けたい、いつかは住みたい、次世代へ引き継ぐ夢と希望が溢れる村づくりを進めたい。

具体的には、すでに取り組んでいる交流人口の増加プロジェクトにおいて、奉建塔周辺と金剛山周辺の2エリアの活性化を中心に検討を進めていきたいと考えている。

役場庁舎については、現庁舎は、建設以来約50年が経過し老朽化が進んでいる。

村では、3月に防災計画を見直したが、現庁舎では災害時における災害対策本部としての機能が十分果たせないと認識しており、防災拠点整備事業として役場庁舎の整備をあげている。

## 新庁舎の建設を

**要望** 役場庁舎の建て替え場所については、くすのきホール周辺が良い場所と私は考えている。一度、検討していただきたいと思う。建設は、大賛成であり、村の木材を使用した立派な庁舎をお願いしたい。



役場庁舎

## 中学校施設の安全対策は

**問** 中学校の敷地内を囲むフェンス等の設置は行うのか。また新しい校門の設置はするのか。

**答** 安全対策の必要性は十分認識しているが、敷地内には村道が通っており、棚田への見学ルートにもなっている。24年度から、用務員をシルバー人材センターに委託し、校舎内外の見まわりをしている。フェンスを設置し、敷地内を囲むことは、村



村立中学校

## 各地区の環境と防犯対策は

**問** 省エネの推進として防犯灯のLED化への助成制度の創設はしないのか。

**答** 地区補助金に防犯灯の設置費用を含めている。LED化は防犯

効果を高めるほか、小電力、長寿命、経費削減を期待することができ、費用負担が大きいため、今すぐのLED化は困難である。先進事例を調査し検討していく。

## 若者に魅力のある村づくりとは

**問** 子どもを産みやすい支援策として出産祝い金制度の創設はしないのか。また若い夫婦が村に移住しやすい策として住宅購入補助制度の制定と転入をアシストする機関の設置はしないのか。

**答** 制度の創設は、子育て支援策の一つともいえるが、一時的な支援ではなく、現行制度とのバランスを踏まえ、人口減少対策も視野に入れたメリハリのある施策を図っていききたいと考える。

また、人口減少問題は深刻で、何らかの定住促進策を打ち出すことと、アシストする機関も含め検討を進めていく。

## 巨大災害発生時、村民への給水はどうする

**問** 災害が発生すれば、水道管等が寸断され、水道水の供給は停止する。

明日にでも起こり得る地震などの災害に対して、どのように対応されるのか伺う。

**答** 送水管の耐震化については、大半はできていない。災害時には水道管が寸断され、水は

出た状態になるので、配水タンク流出側に緊急遮断弁を早急に新設すれば、災害時には、一定量の水が確保され、村民はポリ容器などに水を入れ、利用できる。要望のあった給水車購入については、高額なために今後検討する。

## 4月から始まる中学校給食の実施方針は

**問** 去る2月18日に実施された中学校給食の試食についての状況と中学校の実施方針は。

**答** 給食の試行という形で全校生徒を対象に行い、メニューは幼小・小学校と同じで量については1.3

倍の食事で実施し、残食率は他市と比べ低い残食率であったと判断している。給食アレルギーについては、現在7名の園児・児童が対象で、代替食の提供を行っていく。

## 防災行政無線工事の進捗状況は

**問** 防災無線工事と今後の運用方法について伺う。

**答** 工事期間は1カ月程度、延長しており、個別受信機は、順次設置中である。時報のお知らせは、午後5時にメロディを鳴らし、火災発生時は、従来通りサイレンを鳴らして、村民へ知らせる。



## 全員協議会報告

1月30日、3月12日開催

### ▼千早赤阪村むらづくり経営計画(案)について

人件費や経費の削減、事務事業の見直しなど行財政改革を目的に平成22年度から3カ年の緊急措置として策定した「千早赤阪村行政経営戦略プラン」が終了することに伴い、後継計画として、平成25年度から4カ年を計画期間とした「千早赤阪村むらづくり経営計画(案)」が提案されました。

行政経営戦略プランの取り組みの結果、「平成23年度決算で単年度収支9600万円の黒字、積立金8億2000万円となり、計画目標であった平成24年度末の赤字解消が達成された」と報告がありました。

### ▼中学校給食について

4月から始まる中学校給食の内容について報告がありました。

給食日数 171日  
給食費 月額5400円

### ▼大阪広域水道企業団と大阪市の水道事業統合に関する中間報告について

企業団と大阪市水道局との水道事業統合について、協議が進められています。これまで検討されてきた「合理化」、「統合メリットの共有手法」、「企業団と統合する際の条件整備」など、水道事業統合(素案)の概要報告がありました。

### ▼工事請負契約の報告

府道富田林五条線への配水管布設工事(5000万円以下)のは、議会の議決が不要)契約の方法 指名競争入札  
契約金額 1680万円  
契約者 村内業者

### ▼旧自然休養村管理センター貸し出しについて

株式会社オルター(自然食品などの販売等)と建物賃貸借契約・土地転貸借契約を結びました。

▼その他「村防災計画」の改正について説明がありました。

# 議会活動日誌



2月

- 4日・国民健康保険運営協議会
- 4日・農業委員会研修会
- 5日・奥河内観光写真コンテスト表彰式
- 8日・トップセミナー  
・農業委員会
- 14日・南河内環境事業組合第一回定例会
- 20日・地域福祉計画策定委員会
- 21日・南河内人権啓発推進大会
- 25日・府町村議会議長会役員会  
・会計監査
- 26日・議会運営委員会



3月

- 4日・府町村議長会定期総会
- 5日・第1回定例議会（初日）
- 6日・総務民生常任委員会
- 7日・文教建設常任委員会
- 8日・農業委員会
- 12日・全員協議会
- 13日・幹事長・代表者会議
- 13日・中学校卒業式
- 14日・議会運営委員会  
・広報編集委員会
- 15日・幼稚園卒園式
- 19日・各小学校卒業式
- 21日・第1回定例議会（最終日）
- 22日・千早赤阪村議会議員選挙立候補予定者説明会
- 25日・会計監査

4月

- 3日・広報編集委員会
- 4日・幼稚園入園式
- 5日・各小学校入学式  
・中学校入学式
- 9日・広報編集委員会  
・農業委員会
- 16日・村議会議員選挙告示
- 17日・村議会議員選挙期日前投票期間
- 20日・村議会議員選挙開票
- 21日・村議会議員選挙開票
- 22日・会計監査
- 25日・楠公祭



## 雑感



大量の化石燃料の使用による、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスにより、21世紀なかばには地表の温度は3.5度程度上昇すると予測されており、これが近年の異常気象や海面上昇の原因と言われています。

しかしこのまま化石燃料を燃やし続けることは、私たちの子孫に大きなつけを残すことになりません。いま、地球環境に負荷が少ない太陽光や風力などの再生可能エネルギーの技術開発が進められています。日本では総エネルギーに占める割合はまだ1.4%程度です。村には大きな自然が残されています。村には大きな自然が残されていますが、この50年間、山の手入れがされず、耕作放棄地も増え川の水量も減りました。過去には豊かな千早川の水を利用した水力発電が2基稼働していました。

私達は省エネと自然エネルギーに関心をもって、荒廃しつつある村の自然を「真に豊かな自然」に戻すために、身近な生活の場で何ができるかを考える時期にきているのではないのでしょうか。

清井 浩